

第 53 号

発行
福岡県地域婦人会連絡協議会
〒812-0046
福岡市博多区吉塚本町13-50
発行責任者 木下 幸子
TEL 092-643-1440

県婦連ふくおか

- *家庭・地域の教育力を高め、青少年の健全育成に努めよう。
- *審議会等政策決定の場へ女性の参加を促進しよう。
- *循環型社会をめざし、地球環境を守ろう。

『新しい時代に向けて』



福岡県地域婦人会連絡協議会

会長 木下 幸子

新年明けましておめでとうございます。皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

新年号の令和になって3年目を迎えました。振り替えると、平成の世は大きな自然災害が度々ありましたが、令和の世にもそれは続いているようで、昨年の地域婦人会は予期せぬコロナ禍で、全く身動きが取れない状態からのスタートになりました。未知のウイルスにより、社会経済活動や日常生活は大きく影響を受けて、私たち婦人会も活動を自粛せざるをえませんでした。この広報誌53号も編集作業がでずに、6月の発行予定が新年号になった次第です。

このコロナ禍がいつまで続くのかわかりませんが、私たちの日常は大きく変わり、三密回避、マスク着用、うがい手洗い、フィジカルディスタンスの確保等これまであまり意識しなかったことが活動する上での前提になりました。

また、昨年の「令和2年7月豪雨」は、熊本県を中心に甚大な被害をもたらしました。50年に一度と言われる大雨が毎年発生するという想定外の災害。確かに地球環境が大きく変化しているのかもしれませんが、地球環境に限らず、万事において、私たちは、これまでの経験や通念が通用しなくなる新しいステージの入口に立っているのかもしれない。

もしそうであるならば、私たち婦人会にも否応なしに新しい時代の波が押し寄せてきますので、何と向き合っていかなければなりません。

戦後から現在まで常に時代の第一線で活動してきた婦人会なら乗り越えられる波だと思えますし、そういう力を婦人会はまだ持っていると思います。

今年も1年元気で楽しく活動していきましょう。



退任の挨拶

前事務局長 後藤 薫

若葉の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。平成30年4月1日から2年間事務局長を務めさせていただき令和2年3月31日に退任させていただきました。皆様方には大変お世話になり、また、様々な事を勉強させていただきました。九州地区地域婦人会大会が無事に終わりましたことも皆様のおかげと深く感謝しております。福岡県地域婦人会連絡協議会の益々のご発展と、会員の皆様の末永いご健勝とご多幸を祈念いたしまして退任の挨拶とさせていただきます。

新任の挨拶

新事務局長 藤田 益彦

4月1日付けで、後藤 薫 事務局長の後任として参りました藤田 益彦と申します。3月までは嘉穂高等学校及び附属中学校で事務長として勤務していました。全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、不要不急の外出や活動の自粛が要請される、まさにそんな中に着任いたしました。地域婦人会は地域の第一線で活躍を重ねてきた団体であり、その内容も地域社会で広範囲に亘つてきめ細かく取り組まれております。私の役目はこの会の運営サポートですが、このコロナ禍でもできずに皆様にご迷惑をおかけしていると思えます。会長さんをはじめ会員の皆様方のご指導とご鞭撻により微力ながら事務局長としての職務を果たせるように、頑張つて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

受賞おめでとうございます 防犯荣誉銅章 受章



中間市婦人会 木下幸子

長年の地域安全活動に貢献されたということで、全国防犯協会連合会から防犯荣誉銅章を受章されました。

2020年度 環境大臣賞



地域環境保全功労者表彰
柳川市地域婦人会連絡協議会

リサイクルマーケットへの出店や掘割の清掃活動、EM廃油せっけん作りなど、特に掘割の水質浄化のため「市生活環境課」と協力し、市内32ヶ所で月2回の水質調査も継続するなど36年にわたる活動が評価されました。

令和2年度 福岡県地域 婦人会連絡協議会 総会の開催方法について

今年度の総会は新型コロナウイルス禍で国や県からの様々な自粛要請を受け、県婦連でも総会を開催できませんでした。そのため、総会は一室に会しての開催は行わず、議案の審議につきましては、書面表決方式により採決されました。

今年度の基本方針
私達地域婦人会は、基本課題である「組織の充実強化と男女共同参画社会の実現をめざす婦人会活動」のために、地域婦人団体相互の連携協力を密にして、婦人の資質の向上を図り、地域社会の復興に寄与する事を目的

災害見舞金ありがとうございます。

令和2年7月豪雨により、4年連続で大雨の被害が出た福岡県ですが、幸いにも会員の皆様には大きな被害もなくホッとしています。熊本県などの他県では大きな被害となっており、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、この度の豪雨被害状況から、福岡県婦連は全地婦連から災害見舞金20万円をいただきました。県内各地域婦人会へ会員数に応じた見舞金を届けることができました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



新任の挨拶

新任の抱負 大川市連合婦人会 川野 栄美子

世界を震撼させた新型コロナウイルスは普段の生活様式から人間関係に至るまで大きな変化を余儀なくされてしまいました。

そんな中、9月23日の理事会にて、副会長欠員のため、新しく私が副会長の承認を受けました。

木下幸子会長を補佐して、この会の運営に努めてまいりますので、会員の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

福岡市地域婦人会 矢野 八重子

福岡市地域婦人会は、来年70周年を迎えます。更なる十年を目指して、「会員増員」と「社会教育団体としての役割を果たせる団体であり続けるためには」福岡市の一翼と成り得る団体であり続けるには「一人一人の問題として取り組んでいきます」

退任にあたって

福岡市地域婦人会 乙藤 順子

2年前、役員が決まらず婦人会の存続も危ぶまれていた中で就任いたしました。しかし、いざ動き出しますと会員の皆さんは婦人会の大切さを知り、活動にとても協力的でした。

会長として県の会議に出席することで他市の動きも分かり、小さな市の活動だけではなく全国組織化での活動もしているのだとの認識を新たにすると共に誇りをも感じました。

全国結核予防婦人会の会長を木下会長が務めてられており、全国大会に参加、秋篠宮妃殿下のもと参加研修の機会を頂きましたこともこの場をお借りして改めて感謝お礼申し上げます。

リーダー研修会

これからの時代をどう生きていくか

新型コロナウイルスと向き合って

日時 令和2年7月10日 講師 福岡県教育庁教育振興部 社会教育課 村本篤志氏

今、長びくコロナウイルス感染症によりさまざまな問題が起きています。人権問題、感染の危険性、運動不足、体力低下、健康問題などです。それにどう向き合っていくかが、大きな課題となっています。

今回日赤が作成した「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」という冊子を使ってお話頂きました。

実はこのウイルスが怖いのは、「3つの感染症」という顔があることです。知らず知らずのうち

に私たちも影響を受けているそうです。

第1の感染症は病気そのものです。

このウイルスは感染者との接触でうつることがわかっています。

第2の感染症は不安と恐れです。

このウイルスは見えませんが、ワクチンや薬もまだ開発されていません。わからないことが多いため、私たちは強い不安や恐れを感じ、気づく力・聴く力・自分を支える力を弱め、瞬間に人から人へ伝染していきます。

第3の感染症は嫌悪・偏見・差別です。

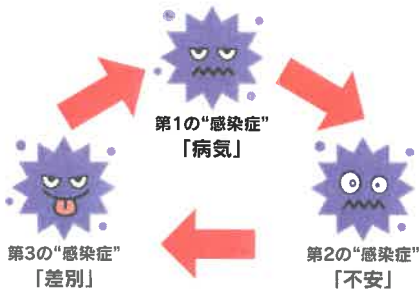
不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。そして、ウイルス感染にかかわ

コロナ第3波への不安

全国各地で一日当たりの感染者が過去最大を更新しGOTOトラベルの対象から除外される県もあり感染拡大に歯止めがかからない状況です。

感染経路の中心は飛沫感染及び接触感染です。自己のみならず他人への感染を回避する事を徹底しましょう。

3つの“感染症”はつながっている



ひとりひとりが気を付けないと ワタシはこうやって力をつけていくよ...



ようこそ那珂川市へ 地域婦人会視察研修会

新型コロナウイルスの発生で延期になっていた研修会が10月15日(木)、単独市政を施行した那珂川市で開かれました。心より歓迎いたします。

最初に社会教育課長の挨拶のあと、いつも通り定例会があり、那珂川市婦人会の活動報告を頂きました。その中で趣味教室での作品や防災ビニール合羽づくりを限られた時間の中で説明させていただきました。

昼食は背振山系の水で作られた五ヶ山とうふの料理はいかがでしたでしょうか午後から、2019年に完成した福岡県で一番大きい「五ヶ山ダム」と日本書紀にものっている1600年前(縄文時代)に作られた「裂田の溝」を視察・見学してもらいました。限られた時間のご案内、充分ではなかったかと思いますが他にもいろいろ見所がありますので又お越し下さいませ。

私たち婦人会も課長の挨拶でもふれられましたが、会員の高齢化と減少という課題もありますが「人生百年を生きる」といわれる今日この頃、私たちにしかできないこともあるのでは...?と自問しながら無理をせず、楽しく元気に活動していきたいと思えます。



自主防災リーダー研修会

日時 令和2年10月31日
場所 九州ビル

各自自治体のリーダー、防災士、県婦連、女性防火クラブ等、約100名の参加で開催されました。

今年7月大牟田市で一日450ミリを超える降水があり、数多くの家屋浸水が出ました。これまでの防災意識では減災に繋がらないのでは？との思いで、今回の研修会に参加しました。

研修会は、3題のテーマで行われ、「地域防災リーダーについて」久留米市の防災士育成の取り組みについて

「女性の視点からの災害対応について」

「平成29年北部豪雨被害からの一歩」と題して、朝倉市久喜宮地区自主防災会長より、当時避難所運営で苦労した事から、今自発的な防災活動ソフト面対策への協力姿勢が見られるようになったと話されました。

最近の自然災害は、今までと違っているように感じます。私たちも他人事ではなく我が地域のこととして捉え取り組んでいきたいと思われました。

(五十嵐)

「女性の視点からの災害対応について」

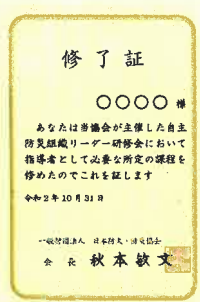
福岡県男女共同参画推進課の加賀穂子氏より、大規模災害時の被害の実態、性別・立場に異なる災害時の困難、地域の防災力を高めるために、というご講演をいただきました。

女性の視点は、生活者の視点であり、実生活に根ざした多くの能力を持つているが女性の意見が取り上げられないことが多い、又、避難所では女性のリーダーが必要であり、平時に出来ないことは災害時にも上手く出来ないとのことなど。

まだまだ地域では、女性の発言が難しい面がありますが、その時々自分の想いをしっかりと伝えられるよう日々努力しなければいけないと思いました。

(矢野)

受講者16名は修了証を頂きました



福岡県女性防火クラブ研修会

日時 令和2年11月10日 午後1時
場所 博多サヒルスホテル

今年コロナ感染予防の中、開催されました。

講師は歌うママ防災士の柳原志保さん、演題は「今わたしたちにできること」

とくもしにも備えるいつも」という分り易く身近な誰もが出来る事から始めましょうと、伝え方に共感でき、話し方が魅力的で聞き入りました。

非常用のトイレの作り方やキッチンペーパーで簡単に出来るマスクの作り方等、私たちがすぐ作れるので、地域で早速広めたいと思いました。

又、災害時避難所に行けばなんとかなるという安易な気持ちで誰もが意識していましたが、先ず全て自分の責任で判断しなければならぬと改めて気付かされ、今後気を引き締め真剣に立ち向かわねばならないと考え直す機会になり、感謝の講演でした。



(田中)

プラスチック資源循環ネットワーク会議に出席して

海洋プラスチック汚染の現状

プラスチックは、私たちの生活に幅広く利用され、なくてはならないものとして普及していますが、ポイ捨てなどにより、捨てられたプラスチックが海へ流れ込み、海洋環境や生物に深刻なダメージを与えていることが、地球規模で問題となつていいます。

福岡県の海でも、海洋ごみの8割は陸域から流れてくるとも言われています。

○「ふくおかプラスチック資源循環憲章」が作成されたの取り組みを中心に出来ることから実践し、プラスチックごみの問題解決に取り組んでいます。

1、使い捨てプラスチックの使用削減

2、バイオプラスチック等のプラスチック代替品の利用促進

3、効果的・効率的で持続可能なリサイクルの推進

○福岡県の「ふくおかプラスチック資源循環憲章」に基づき、セブン・イレブン・ジャパンとイオン九州の活動報告がなされたが、この他にも多くの店舗が協力店として、登録されています。

◎この主旨にそつて、私達も出来ることから努力していくことが大切だと思います。

(横溝)

「新型コロナウイルス感染症」高齢者として気をつけたいポイント

感染しないために「手洗い」を中心とする感染予防を心がけましょう。



ずっと家に閉じこもり、一日中テレビを見ていたり、ぼーっとしていたり、食事もたまに抜かしてしまう... 誰かと話すことも少なくなった

こんな動かない毎日 気がついたら...

あれ!? フレイル!?



生活不活発に気を付けて!

「動かないこと(生活不活発)」により、身体や頭の動きが低下してしまいます。歩くことや身の回りのことなど生活動作がしにくくなったり、疲れやすくなったりし、フレイル(虚弱)が進んでいきます。2週間の寝たきりにより失う筋肉量は7年間に失われる量に匹敵するとも言われています!

令和3年度新役員紹介

- 福岡県婦連会長 木下 幸子 (中間市 婦人会)
副会長 敷田 池田 穂波 (那珂川市 婦人会)
副会長 藤井 川野 栄子 (大川市 連合婦人会)
福岡地区(教育部会) 地区代表 小田 晴美 (春日市 婦人会)
委員 山下 美知子 (筑紫野市 婦人会)
委員 吉留 節子 (糟屋郡 宇美町 婦人会)
委員 矢野 八重子 (福津市 地域婦人会)
北筑後地区(組織部会) 会長 横溝 敏子 (久留米市 主丸町 地域婦人会)
書記 白井 勝子 (久留米市 女性連絡協議会)
地区代表 池田 博子 (久留米市 女性連絡協議会)
委員 藤田 紀代子 (朝倉市 女性連絡協議会)
南筑後地区(福祉部会) 地区代表 廣石 福子 (三津郡 大木町 婦人会)
委員 藤木 利美子 (柳川市 地域婦人会)
委員 野間 幸江 (八女市 地域婦人会)
委員 五十嵐 多喜子 (筑後市 連合婦人会)
委員 北村 風子 (みやま市 女性倶楽部)
筑豊地区(くらし部会) 書記 古場 弘子 (遠賀郡 遠賀町 婦人会)
地区代表 安河内 治子 (嘉穂郡 桂川町 婦人会)
委員 吉田 香枝 (遠賀郡 岡垣町 婦人会)
委員 井上 節子 (飯塚市 婦人会)
委員 峯岡 進子 (朝倉市 小竹町 婦人会)
委員 石橋 重子 (遠賀郡 水巻町 婦人会)
委員 田中 妙子 (田川郡 添田町 婦人会)
委員 野上 君子 (庄内 女性の会)
会計監査 監査 竹井 澄子 (柳川市 地域婦人会)
監査 福嶋 三子 (田川郡 添田町 婦人会)

手作りマスク コロナウイルス感染症予防

遠賀町婦人会

今年3月頃から、今までかつて経験したことのない新型コロナウイルス感染症予防の為、イベントや行事等が中止になり自粛生活になりました。私達婦人会で今出来ることは、何かないだろうかと考えていたところ、丁度テレビ等でマスクが不足している事が解かり、婦人会でマスクを作りました。どこかの施設に使っていただくとう、晒の布やゴムが不足していた時でした。何とか調達できた分200枚程度、社会福祉協議会を通じて、デイサービスの方々や子育て支援「ぐっぴ」のお母さんや職員に届けることが出来、大変喜んでくれました。

すると、社会福祉協議会の敷地内に、障がい児の学童クラブに、1年生から6年生まで10数名の生徒さんを通して話を聞き、生徒さんが喜んでいただけそうな色や柄の布地を探すことから始め、サイズも大・中・小3パターンに分け、作成しました。一人4、5枚ずつ柄を変え、先生に贈呈するところを社協の広報の方が写真を撮り、広報誌に載せていただきました。また後日生徒さん達から、心温まるお礼の寄せ書や手作りの押花のおしり等いただきました。生徒さん達とはコロナ禍の中、お会い出来ませんが、心の交流ができました。



10月より婦人会関係の事業を再開しました。

田主丸町地域婦人会

○婦人会でお世話している「女性交流事業」の5つの教室を10月より実施することができ、会員の方々は楽しく生き生きと活動されております。
○「親子ふれあい事業」では、災害が多い中、「ダム」の役割について知ることは大切ではないか!!ということ、近くにある「寺内ダム」と「合所ダム」の見学を10月17日(土)に実施し、ダムの役割について学習することが出来ました。ほとんどの方はダムの地下道があることを知りませんでした。長いトンネルを皆さん元気いっぱい歩きました。
毎年実施している「自然とふれあうグラウンドゴルフ」は11月15日に実施しましたが、60名ほどの参加があり、晴天に恵まれた自然の中で、楽しんでいただきました。

※参加者 子どもの声

今回のグラウンドゴルフは新型コロナウイルスにより、6月から11月へ延期になりましたが、天候にめぐまれ、非常に楽しいものとなりました。去年とちがいで、今年はお子さんが屋外で食べられてよかったです。毎回思うのですがカレーに入っている肉がすごくやわらかくておいしいです。

スコアはあまりよいとは言えない結果でしたがとても楽しかったです。

ホールインワンゲームでは、今年は一入2個までしかお菓子もらえなかったのですが、できれば来年は「個数制限なし」にしてほしいです。

来年も参加したいです。参加賞が欲しいです。お願いします。



「令和2年7月豪雨」見舞い支援

中間市婦人会

中間市婦人は、令和2年7月3日からの豪雨により被害をうけられた被災地の方々に一刻も早い復旧・復興を願い中間ライオンズクラブと共に中間市「ONE TEAM」救援物資協力をいたしました。市内の小中学校をはじめ市内の各団体からのたくさんの方の温かい支援によりたくさんの方の支援物資が届き、令和2年8月1日に被災地である熊本県に届ける事ができました。これからも中間市婦人はより地域社会へ貢献することで婦人会の活動を地域に根ざしたものにし、人と人のつながりを大切にしていきたいと思っております。



楽しかったグラウンドゴルフ大会 久留米市女性の会連絡協議会

10月20日(火)、雲ひとつない秋空のもと、恒例のグラウンドゴルフ大会を開催しました。

会場は久留米市陸上競技場南の中央公園で開催されました。今年度はコロナウイルス禍の為に校区10名の選手を5名に減じました。総勢20名、8グループに分かれゲームについての説明を受け、前段約30分基礎講座、続いて基礎技術等を学び最後に15mの打ち方を練習しました。ゲームは盛り上がり健康と親睦のためのグラウンドゴルフ大会なので他校区の人と賑やかな話し声、それに時として起こる笑い声や完成を混じえた大変楽しい大会でした。ゲームは1ゲームで終わり記録の集計は講師と事務局で行なわれ成績発表と閉会行事に移りました。

今年度のグラウンドゴルフ大会はぬけるような秋空の下で新型コロナウイルス禍の中、手指の消毒、マスクを行ない密を避け参加賞「楽しかったね。」を口々にして終わることが出来ました。コロナ禍の一日も早く終息することを祈りながら会場を後にしました。



災害にそなえて

宇美町連合婦人会

日時 令和2年10月23日
講師 危機管理課防災防犯課 橋本氏 小野氏

「これからは災害はきつと来る。勉強しよう。」との会員の声で、役場の出前講座で研修会を行いました。まず、わが家の防災ハンドブックを活用して、日頃から備えることの大切さを学習しました。次に、平成28年の熊本地震等いくつかの災害事例を見せられた後、生き延びるための備えや避難について詳細に説明して頂きました。

自然災害に見舞われながら犠牲者が出なかつたのは共助の大切さです。近所同士の声かけや、日頃から地域ぐるみで訓練している共助のおかげです。自分の命、家族の命を守るためにも今日から防災に取り組みようと、みんな心に誓いました。



春日市社会教育関係団体連絡協議会 人権学習会

春日市婦人会

日時 令和2年11月1日
会場 ふれあい文化センター 大会議室
講師 春日市教育委員会教育長 扇弘行氏

婦人会他7団体で毎年人権学習会を開催しています。「環境の変化と対応から考えたい子どもの心理」をテーマに、例年だと250名の参加者ですが、今回はコロナウイルスの関係で70名の人数制限と万全の対策をとって行いました。

春日市がコミュニティスクールを始めて15年、地域と一緒に子ども達の成長を見守ってきましたが、まだまだ不登校問題、人権問題など様々な課題を抱えています。子ども達は学校でも家庭でも自尊心を高めて、役に立っています。認められ、必要とされているということを実感させながら自分も他人も認め合うことが大切というお話でしたが、子育て中に聞きたいお話でした。

編集後記

令和2年度コロナ禍の為6月の発行が出来ませんでしたがかつと第53号を発行する事が出来ました。沢山の原稿ありがとうございました。

編集委員

- 池田穂波、川野栄美子、臼井静子、古場弘子、池田博子、横溝敏子、安河内浩子、廣石福子、小田晴美